

## 各種行事への参加報告書

報告者氏名	宇都宮 信博	他参加者	越智富夫・町野公一・高橋正佳・永易賢一郎 日浅早人・玉井ちはる・寺川華奈・他不明	
内容	<input type="checkbox"/> 会議 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	※会議の場合は、 拘束時間数	時間	※会議等の開催場所までの 出向に要した時間数(往復)	時間
開催日時	平成29年10月8日(日)・9日(月)			
名称	第13回日鍼会全国大会 in 大阪「大大阪フェス」			
主催	公益社団法人 日本鍼灸師会			
(あれば) 講師(所属)	ウイスコンシン医科大学教授 高橋 徳			
<p>1. 感想(印象深かったこと) 150字以上</p> <p>人を愛することで健康になれる一愛のホルモン オキシトシンと題して講演があった。オキシトシンは神経ホルモンの一つで抗ストレス作用があり、健康の鍵を握るホルモンです。人にはホメオスタシスと言って恒常性維持機能をもつ、しかし日常活動する中ではいろいろとストレスを受けアロスタシスがONになりOFFになれば病気にならずにすむのだけれどアロスタシスONが続くとアロスタチックロードの状態になりいろいろな病気を引き起こすことになる。最近ノーベル賞生物学者・ブラックバーン博士らによる研究で、テロモアという部分がクローズアップされている。この部分は染色体の先に存在するものでこれが縮小したり、減少すると老化が進行したりいろいろな病気を引き起こすとされている。これにブレーキをかけ、テルモアを増加させたり元気づけることの方法に「マインドフルネス」瞑想法が効果を発揮するとされている。冥想することによって厭なことを忘れリラックスすることは心を落ち着かせ、人を思いやったり、感謝する心が生まれオキシトシンが増加するだけでなくテロモアの成長にも関与することはこれからの患者指導にも重要感があることで今後大切にしていきたいと考える。</p> <p>この件は、病は気からの原点を考えるうえでも重要なことであり、今後鍼灸の研究機関において鍼の刺激がもたらすテロモアへの影響を研究することは我々鍼灸界に多大な成果を提供してくれるはずである。将来の研究機関に期待すること大である。</p>				
<p>2. 全国大会に対するご意見・ご要望などありましたらお書きください。</p> <p>今回の会場「市民公開会場」においては業者の展示コーナーと同じホールでざわざわと騒音の聞こえる中講師の先生方にも大変失礼になったと考える。今後注意して会場の設営をお願い致したい。</p>				
<p>3. 愛媛県鍼灸師会の学術研修会についてのアンケート</p> <p>①今後取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。</p> <p>医療面接のなかで、患者への心理指導ができる用なテーマ！</p> <p>「臨床心理学」</p> <p>②招聘したい講師などありましたら具体的にお書きください。</p>				

※画像データなどあれば理事メール等にて送ってください。HP などでの報告資料として使わせていただきます。

※なお、この報告書は、派遣事業の報告書として、hp・はりきゅう愛媛で報告させていただきます。